

3 学校教育の充実

基本目標1 「ふるさと廿日市」に愛着と誇りを持ち、社会を生き抜く力を育む学校教育の充実

社会が激しく変化する中で、次世代を担う子ども達が、「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもつとともに、生涯にわたり、自ら学び、考え、協働して課題を解決する力を身に付けることができるように、「主体的に」「協働的に」学ぶ取組を進めます。

【令和元年度当初予算の主な事業】

(1) 社会のニーズに応じた教育の推進

○ 情報化社会に対応するICT教育の推進（小学校ICT活用教育推進事業）

5,818万円（◎4,818万円）

（中学校ICT活用教育推進事業）

3,582万9千円（◎3,327万7千円）

子どもたちの学習への興味関心を高め、子どもたち同士が教え合い、学び合う協働学習を効果的に展開するため、デジタル教科書への対応など、ICT活用教育のための環境整備を推進し、わかりやすい授業づくりをめざします。

○ グローバル化に対応する外国語教育の充実（国際理解教育事業）

5,185万6千円（◎5,178万9千円）

子どもたちの英語力を高め、外国の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するため、ALT（外国語指導助手）を全市立幼・小・中学校に配置します。

また、子どもたちに異なる文化の人たちと触れ合う場を設定し、教育・文化の交流を行うことで、グローバル感覚を身につけた人材の育成を図ります。

○ 食育の推進（学校教育振興一般事業）

24万円（◎24万円）

（大野学校給食センター管理運営事業）

57万4千円

「第2次廿日市市食育推進計画」に基づき、学校給食の分野から児童・生徒、家庭及び地域住民への食育の推進を図ります。

(2) 子どもたちの状況に応じた教育や心の教育の推進

○ 安心して学べる集団づくり（中学校教育振興一般事業） 12万3千円（◎12万6千円）

身のまわりの問題を自らの手で解決しようとする生徒の自主的・実践的な態度を育むため、市内10校の中学校の生徒会代表生徒が一堂に会する「生徒会サミット」を開催します。

○ 相談、教育体制の充実（学校教育振興一般事業） 2,187万7千円（◎2,118万8千円）

（ハートウォーミング事業） 1,594万9千円（◎1,597万6千円）

（いじめ・不登校対策事業） 1,129万7千円（◎1,163万8千円）

（心の教室相談員事業） 602万1千円（◎596万2千円）

子どもの心の悩みをしっかりと受け止めるために、小学校に生徒指導アシスタント、中学校に心の教室相談員を配置します。また、教育委員会事務局に、スクールカウンセラー、スク

ールソーシャルワーカー、特別支援教育士を配置し、いじめや不登校、虐待等の様々な相談に対応できる体制を整え、学校を支援します。

○ **学校における働き方改革の推進**

(学校教育振興一般事業) 1,390万8千円 (◎645万6千円)

(小学校管理運営事業) 4,173万8千円 (◎3,948万6千円)

(中学校管理運営事業) 2,495万4千円 (◎2,303万円)

「学校における働き方改革取組方針」に基づき、学校における働き方改革を着実に進めるため、教務事務支援員や部活動指導員の配置を拡充するなど、教職員の時間外勤務を減少させ、子どもと向き合う時間を増やします。

○ **関係機関が連携した子育てサポート体制の充実**

(小学校管理運営事業) 5,694万9千円 (◎5,673万3千円)

(中学校管理運営事業) 2,301万1千円 (◎1,675万2千円)

発達障がいをはじめとした、特別な支援が必要な子どもに対しては、関係機関との十分な連携を図るとともに、特別支援教育支援員を学校に配置し、一人ひとりの実態に合わせ、学校生活をサポートします。